



1.掃き出しの引き戸の向こうはベランダ。窓からの光が気持ちいい。2.玄関左手には水まわり。浴室とトイレ、洗面がすっきりと納められている。3.家具やインテリアを上手にアレンジすれば、パリのアパートメンのような暮らしができるようだ

リゾート感漂う すっきりまとまった空間

この物件を運営するのはプライベート・ルーム。「遊雅なプライベートルーム」をテーマに、20平米という限られたスペースのなかで眠る空間と生活空間を分けたいと考えた。設計を手がけたのは、ただ設計室の寺田功さん。施工は、土地探しから取り組んだ臼井啓祐さんが社長を務める翔建。「完成時は少し寂しかったですね」と口を揃える。つくり手のビジョンと時代があるべき集合住宅である。

いわゆるアパートの印象とは全く違う、こんなところに住みたいと思える部屋。スキップフロアによって水まわりとリビング、ベッドルームがそれぞれに独立した空間。しかも、部屋によっては窓からは海が見える。



7.敷地内に2棟が立つ。それにより眺望や日当たりが確保されただけでなく、ストーリー性も感じられるつくり。計画当初からイメージしていた赤い手すりアクセント。8.こちらは000号室のベランダからの眺め。見晴らしのいい丘の上で、眼下には海が見える

4.部屋番号のプレートもいい感じだ。5.ポストや宅配便BOXにも気を配り、センスよく仕上がったエントランス。6.フランス語で「春」を意味するPRINTEMPSが物件名

問い合わせ

【事業主】

合同会社プライベート・ルーム
〒221-0812 横浜市旭区西川島町80-12
info@private-room.co.jp

【設計】

株式会社てらだ設計室
〒221-0812 横浜市森崎1-10-13 ☎: 046-802-3181
www.terada-room.com

【施工】

株式会社翔建
〒221-0812 横浜市林2-3-6 ☎: 046-887-0027
www.shoken-yokokosuka.co.jp

横須賀 PRINTEMPS

プライベート感たっぷりの 海が見えるアパートメン



玄関を入るとリビングへの階段。設計の寺田さんは、限られた高さに部屋をいかに構成するか知恵を絞った



階段を上がると、ドアを閉めてしまえばプライベート感が増すリビング。天井が高くシーリングファンが備えられている。スキップフロアの上は寝室スペース。奥はクローゼットになっている



東京湾を見下ろす高台にある新しい分譲地。立派な戸建住宅が並ぶ奥に、2棟の集合住宅が建っている。室内に入ると、アパートのイメージを覆す心地良さ。これからの時代のアパート像を考え抜いた、プライベート感と遊び心を大切にされた物件である。

写真◎大杜優子